

施設類型 レクリエーション系施設

施設分類 保養施設

①施設概要

市民の保健向上とレクリエーション活動の健全な育成を図り、もって福祉の増進に資することを目的に設置しています。

施設分類	カルテ番号	対象施設	所在地	所管
保養施設	016	国民保養センター鹿島荘	みそら 3-625-7	福祉政策課

【施設の位置図】



②現状と課題

【施設データ】平成 29 年度末現在

施設名	中学校地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用人数(人)	m ² あたり単価(千円)	利用者あたり単価(千円)
国民保養センター鹿島荘	旭	S50	42	50	850	指定管理	指5	14,838	109	△14,729	15,423	17.456	0.962

国民保養センター鹿島荘は、鉄筋コンクリート造 2 階建て（地下 1 階）、延床面積は 850 m²。

昭和 50 年に建設した旧耐震基準の建物で、耐震診断の結果、基準を満たしていると判定されましたが、建設から 42 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。また、敷地内の駐車スペースが少ないため、近隣のごみ処理施設の駐車場を無償で借用しています。

開館日・開館時間は、月曜日（祝日の場合はその翌日）・年末年始を除く毎日、10 時から 17 時まで、管理運営は指定管理者が行い、管理運営費は 14,838 千円/年（市職員人件費を除く。）で、施設使用料等の収入は 109 千円/年となっています。施設使用料は大人 300 円、子ども（中学生以下）100 円（ただし、市内在住で 60 歳以上の方、心身障害者、6 歳未満の方は無料）ですが、高齢者の利用が多いため、ほとんどの利用者が無料となっています。

実施事業は、貸館によるレクリエーション活動を支援するほか、指定管理者の自主事業として、ヨガ教室などを開催し、利用者数は 15,423 人/年となっていますが、利用者及び利用団体は固定化し、新規利用者は少ない状況です。また、20 名以上の団体向けに市バスを活用した無料送迎（年 50 回程度、1 団体あたり年 2 回まで）を指定管理とは別に実施しており、バスの運行費用は約 1,000 千円/年となっています。

なお、浴場施設については、設備の老朽化等により、平成 29 年 10 月末で廃止しており、廃止後の利用者数は約 3 割減となっており、利用状況は下記のとおりとなっています。

【各部屋の利用状況（鹿島荘）】

部屋名	利用率（％）				部屋名	利用率（％）			
	午前	午後	夜間※	平均		午前	午後	夜間※	平均
大広間 1F	90.52	90.52	0.00	60.35	和室（梅） 2F	53.59	53.59	0.00	35.73
和室（竹） 1F	81.70	81.70	0.00	54.47	和室（松） 2F	76.80	76.80	0.00	51.20
食堂 1F	32.68	32.68	0.00	21.79					

※夜間は閉館しています。

③施設評価と対応方針

「施設の安全性、必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」について以下のように分析しました。

【分析】

対象施設	施設の安全性、必要性	施設の有効性	管理運営の効率性
国民保養センター 鹿島荘	<ul style="list-style-type: none"> 耐震基準を満たしていますが、老朽化が進んでいます。 ごみ処理施設の余熱利用施設として建設しましたが、施設の老朽化等により、浴場を廃止し、現在は貸館事業での利用が主で、余熱利用は行っていません。 	<ul style="list-style-type: none"> 15,423人/年の利用がありますが、利用者及び利用団体が固定化しています。（浴場の廃止により、利用者が約3割減少しました。） 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を導入し、効率化を図っています。 駐車スペース不足や施設の立地条件等から市バスによる無料送迎を実施しており、指定管理料のほか、運行費用が別途かかっています。 施設使用料は有料となっていますが、無料対象の利用者が多くなっています。

上記分析を踏まえて、当該施設については、以下のように評価し、対応します。

【評価結果】

対象施設	方向性		説明
	機能	施設	
国民保養センター 鹿島荘	廃止	廃止	【機能】 ・ごみ処理施設の余熱利用施設として設置しましたが、ごみ処理施設が移転することや貸館事業においては他公共施設での代替を検討できることから廃止します。 【施設・管理運営】 ・施設の老朽化が進んでおり、安全上の課題があることから廃止します。

【対応方針】

- 施設の老朽化等や隣接のごみ処理施設の移転、また、貸館事業においては、他公共施設での代替を検討できることから廃止します。
- 廃止後の現施設のあり方を検討します。

④展開スケジュール

課題事項	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (R元年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2028年度 (R10年度)
鹿島荘の 廃止及び 廃止後の 現施設の あり方の 検討			●	●	●							
				● 廃止に向けての対応 ●		● 廃止 ●	● 横計結果に基づく対応 ●					
（廃止に向けての対応事項） ①指定管理者との協議、②市民・利用者への周知、③条例廃止												